

平成29年9月28日

## 原料費調整制度に基づく平成29年11月検針分のガス料金について (群馬地区)

東京ガス株式会社  
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成29年11月検針分の単位料金を、平成29年10月検針分に比べ、1m<sup>3</sup>(45MJ)につき0.34円(消費税込)下方に調整いたします。

今回の調整は、平成29年6月～平成29年8月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に36m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で平成29年10月検針分と比較して、12円(消費税込)ガス料金が下がります。

平成29年11月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～24m <sup>3</sup>	料金表B 25～500m <sup>3</sup>	料金表C 501m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	745.20	1,272.54	7,473.90
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	125.24	104.08	91.69
(参考) 10月 調整単位料金	125.58	104.42	92.03

### 2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 36m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> ) 適用料金(円/月)	平成29年 10月	平成29年 11月	増減
	5,031	5,019	▲ 12

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(平成24年度～平成28年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	平成29年5月～平成29年7月 の平均 (10月検針分)	平成29年6月～平成29年8月 の平均 (11月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	23,280	22,920	▲ 360
LNG	48,640	47,980	▲ 660
LPG	48,690	46,970	▲ 1,720
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	▲ 4,000	▲ 4,400	▲ 400

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} = \frac{47,980}{46,970} \times 0.4414$$

$$+ \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} = \frac{46,970}{46,970} \times 0.0371$$

$$= \frac{22,920.95}{100} \text{円/t}$$

↓(10円未満四捨五入)

$$= 22,920 \text{円/t}$$

■ 原料価格変動額の算定

$$22,920 \text{円/t} - 27,350 \text{円/t} = \text{▲ 4,430円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

$$= \text{▲ 4,400円/t}$$

■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = \frac{\text{▲ 4,400円}}{100 \text{円} \times 0.08424^{*1}}$$

$$= \text{▲ 3.71円}^{*2}$$

\*1 変動額100円につき単位料金を0.08424(0.078×1.08)円調整します。

\*2 調整額がプラスの時は少数点第3位を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 36m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	平成29年 10月	平成29年 11月	増減
適用料金(円/月)	5,031	5,019	▲ 12

・ 標準家庭料金の計算方法

群馬地区

本体料金(税込) = 基本料金(1,272.54円)

$$+ \text{調整単位料金}(107.79 \text{円} + \text{▲ 3.71円}) \times 36 \text{m}^3$$

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑      ↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(27,350円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.08424円(0.078円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。